

平成 2 6 年 1 月 1 0 日 開 会

平成 25 年度第 10 回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
議案第1号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出について	「垂水市公立学校講堂等使用料徴収条例の一部を改正する条例」制定の議案を提出することについて、市長に意見を申し出ようとするものである。	特記事項なし	承認
議案第2号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出について	「消費税法等の改正に伴う社会教育課所管の関係条例の整理等に関する条例」制定の議案を提出することについて、市長に意見を申し出ようとするものである。	特記事項なし	承認

平成25年度第10回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成25年1月10日（金）</p> <p>午前14時00分</p> <p>↓</p> <p>午前14時55分</p> <p>小会議室</p>	<p>教育委員長 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p> <p>教育長 長濱 重光</p>	<p>教育総務課長 川畑 千歳</p> <p>学校教育課長 牧 浩寿</p> <p>社会教育課長 瀬角 龍平</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成25年度第10回教育委員会定例会を開会した。
議案第1号と議案第2号の2件は非公開で審議する旨、委員長から発議があり、全会
一致で議決された。

2 平成25年度第9回教育委員会定例会会議録の承認

承認

3 委員並びに教育長及び課長報告

4 議 事

議案第 1 号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出に
ついて（教育総務課）

議案第 2 号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出に
ついて（社会教育課）

5 その他

6 閉 会

議事内容等

3 報 告	委員並びに教育長及び課長報告
委員長	教育委員、教育長及び各課長の報告に入る。
委員長	1月8日の南日本新聞に「N I E（教育に新聞を）の効果を問う」と題した公開講座の記事が出ていた。鹿児島大学教育学部の研究者が中心になり、小中学生、高校生、大学生を対象にした新聞の活用・読解に関する調査報告がなされ、パネルディスカッションもあったという内容であった。垂水市内のN I Eの取り組みはどのような状況なのか、つかめてなかった。市内の状況を知るデータはあるか。児童生徒の新聞との関わりをいかに気づかせるか、児童生徒の認識を深めるかという観点から、各学校での掲示板への新聞記事の掲示やホームルームでの活用等利用状況はどうか。新聞の活用は、子ども達が成長する中で大きな影響力を持つと考えられることから、利用すべきと思う。国語・社会・道徳の教材としてタイムリーな事例を提供できると思う。多忙な教育活動の中ではあるが、教育委員会で適切な利用方法を奨励していただきたい。
田原委員	1月5日、成人式に参加した。ここ2、3年静かな成人式だったが、今年は少しざわついたのが少し気になった。二十歳にしては幼い態度も見受けられた。「はたちの主張」の発表内容は良かった。その時々の中学校時代の雰囲気成人式に反映している。他市では恩師のビデオレターだけではなく、近隣在住の当時の担任を招待することもあった。ビデオ上映など式の内容が素晴らしかった。
中谷委員	12月27日はお寺に公民館や小学校関係など地域の人が50人ほど集まり、柘原地域の伝統芸能の大津絵節や三味線を鑑賞した。 12月31日は地域の人が70人ほど集まり、除夜の茶話会を開催した。 1月2日は柘原海岸親子駅伝大会が地域の海岸で開催され、小学生から大人まで襷をつないで力走した。帰省客もこの大会を楽しみにしている。 1月5日、成人式に参加した。新年に、「生きている」「生きていこう」という言葉を感じた。高校3年生の保護者と話す機会があった。親の離婚を経験、苦勞もし、就職が決まったが生活習慣が整っていたか心配している。先日の南日本新聞で、厳しい環境に育った子は、学力・健康・友人関係でリスクを背負うことがあるという記事を見た。子ども時代の格差が成人後の生活水準にまで影響するということが掲載されていた。垂水に暮らす子ども達はどのようなだろうと思いを巡らした。子ども達が幸せに育っている環境作りを学校が家庭と一緒にあって継続していかないといけないと思う。
葛迫委員	第1回和田英作・和田香苗記念絵画コンクールについて報告する。 1月5日に森の駅たるみずに「高校生以上一般部門」の作品91点を搬入した。目標の100点に僅かに及ばなかったが東京や宮崎などから幅広く出品があり良かった。 1月5日には「ジュニア部門」の作品も搬入した。学校賞は柘原小学校

葛迫委員	<p>に決定した。柘原小学校は出品者が少なかったが受賞者が多く、入選率が高かったことが選定の理由である。</p> <p>1月6日、作品を鹿児島市立美術館の学芸員と高校美術教師OB、私の3人で審査した。</p> <p>今年度は地元の垂水高校生の出品がなかったので、来年度は出品依頼して出品があれば盛り上がると思う。ジュニア部門の審査を各校の先生の研修も兼ねて行ったが、出席者が無く残念であった。来年度は出席していただきたい。</p> <p>1月12日から作品展示を開始する。</p> <p>入選点数は「高校生以上一般部門」が79点で、レベルが高かった。「ジュニア部門」の入選点数は549点中102点であり、厳しい審査であった。見応えのある展覧会になると期待している。</p>
教育長	<p>1月2日は柘原海岸親子駅伝大会に参加した。今年で40回目を迎える大会であるが、これまで子ども達に活躍する場を与えていただいている子ども育成会や地区公民館、地区体育協会に感謝の気持ちでいっぱいであると、開会式で申し上げた。好天のもと、1チーム12名の3チームで競った。新城にある障害者支援施設の城山学園も応援に来ていただいた。大会に先立って、皆さんで海岸の清掃を行い、大会開催だけでなく、ふるさとの海・浜をみんなで守るという気持ちが込められた催しで、ありがたく思った。</p>
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	<p>12月14日から1月10日までの主な行事等について報告。併せて、2月10日までの予定についてお知らせした。</p>
4 議 事	<p>議案第1号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出について（教育総務課） （非公開）</p> <p>議案第2号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出について（社会教育課） （非公開）</p>
5 その他	<p>垂水中央運動公園施設のあり方検討委員会の状況について</p> <p>垂水中央運動公園の全体的な改修について、関係スポーツ団体の代表に入ってもらって協議している。第2回会議では、トラック部分は残してほしいとの意見もあったが、最終的にあり方検討委員会としては、多目的利用型施設に改修するということが委員の一致を見た。人工芝は降灰対策で問題があり、天然芝の方が良いとのことであった。整備後は高校・一般の</p>

教育長	<p>サッカー場が2面、グラウンドゴルフが8面確保できる。また進入路と駐車場については、本城川側から2つの進入路を整備し、庭球場、体育館側に約60台の駐車場を整備することなどが承認された。</p> <p>今後の日程は、1月24日開催の第4回会議後に、市長に対し検討委員会委員長から提言書を提出していただく予定である。それを踏まえて、平成26年市議会第1回定例会の全員協議会で議員に提言書の内容を説明し、平成26年度から計画を実施していきたい。</p> <p>教育委員には2月の定例会で提言書の内容を説明したいと考えている。</p>
委員長	平成26年度の事業計画はどうなっているか。
教育長	<p>運動公園の全施設が対象であるため多額の経費がかかる。新築ではないので、長寿命化計画を策定する必要がある。平成26年度は長寿命化計画を策定するための調査委託費が計上できればと考えている。</p>
委員長	改修の予算措置は確定していないのか。
教育長	<p>まだである。陸上競技場は単純な改修でなく多目的に使うための改修であり、社会資本整備交付金の対象になるかなど、今後、確認する必要がある。</p>
6 閉 会	